



令和5年3月1日
平塚市
青少年指導員
連絡協議会

平塚市青少年指導員については
二次元コードから



令和5年 平塚市はたちのつどい

平塚市はたちのつどい実行委員 × 平塚市青少年指導員

平塚市はたちのつどい実行委員長

わくい みさき
涌井 美咲

成人の日で晴れ着を着るなんてきつと、一生に一度だから記憶に濃く残るような記録を作りたい。作る側として参加してみたいという想いで平塚市の公式LINEからお知らせが来た瞬間、即ちはたちのつどい実行委員に応募したのを覚えています。

今年度は私を含め6名の実行委員と共にはたちのつどいを運営していききました。各個人個性を活かした活動ができたのではないかと思います。しかし、初めは大丈夫かな？はたちのつどいやれるのかな？と不安な気持ちもありましたが、回数を重ねていくとゴールが近づくことにより一層団結力が出てきました。特に前日準備のフォトスポット作成では風船をふくらませたり、装飾の位置はどうする？など相談しながら行えたことが嬉しかったで

す。その他にも20th pass協賛のおねがいに企業様に伺ったり、恩師からのビデオレター撮影など初めてのことで良かったです。これらは分担して行ったのですが、行けなくなってしまったなどの場合は他の実行委員が代わりに伺うなどカバーし合うことが出来ました。学生であり経験することのない出来事ばかりで至らない点も多々あったと思いますが、この1年を通して私という人間が大きく成長できたと実感しています。この春社会人としてあゆみだします。この経験を活かし今後も活躍していききたいです。青少年指導員の皆様をはじめ、各関係者の皆様改めてここでお礼申し上げます。

以上



平塚市はたちのつどい副実行委員長

こすぎ みみ
小杉 美実

みなさんの一生に一度の晴れ舞台を創り上げたいという思いで実行委員になりました。

私は今回のテーマである「New Step Forward」を決めるに伴い、様々な将来の姿を想像しました。そこでパツと思いついた「新たな一歩を踏み出す」「挑戦する」という目標の元、こ

のテーマが決まりました。みなさんが何か挑戦する際にこの言葉を思い出して挑戦する一歩となれば嬉しい限りです。また私もこのテーマのように、何事にも自ら挑戦できる大人になりたいです。

今年度の式では、昨年引き続き恩師からのビデオレター、20th pass、抽選会の協賛依頼、そして新しい試みであるフットスポットの作製を行いました。実行委員それぞれの得意分野を活かして、意見を出し合い、進めることができました。式当日を迎えるまでは大変な道のりでしたが、実行委員5人と同じ志を持って、活動することができました。式当日は、みなさんの笑顔を見ることができ、これまでの努力が伝わったように感じて嬉しかったです。

以上



平塚市はたちのつどい実行委員

伊勢 令那

私は、小学生からの友達小杉さんに誘われ、小杉さんがいるなら実行委員をやってみようという軽い気持ちで参加していました。ですが、話し合いを重ねるうちに素敵な平塚市のはたちのつどいをしてほしいという気持ちが出てきて、どうしたら、みんなが良いいね！となるパンフレットになるのか。どうしたら、みんながここで撮りたい！思い出に残したい！と思うのかを考えるように

なりました。

正直、こんなに大変だと思わなかったくらい大変でした。

ですが、実行委員のみんな、学生生活や社会人で時間も取れなく大変な中できる限りをやってくれていて、すごく頼もしかったです。

みんなの頑張りに勇気づけられ、私も日常生活に向上心を持ち何事も全力で取り組んでいきたいとより一層思った思い出です。はたちのつどいが終わった後地元の友達からありがとう！！と感謝されてとても嬉しい気持ちになりました。

その時の嬉しい気持ちを忘れずに、これからの人生も誰かの役に立ち少しでも嬉しい気持ちに感謝されるような人間になっていきたいです。

今回の実行委員でたくさんのごことを学べ、楽しめました。

はたちのつどいに関わって、手助けしてくださった皆様本当にありがとうございます。そして、お疲れ様でした。



以上

平塚市はたちのつどい実行委員

黒崎 由佳

青少年指導員の皆様、この度は令和5年平塚市はたちのつどいの開催にあたってご尽力頂き、ありがとうございます。皆様の支えがあったからこそ、一生に一度のこの式典を素晴らしいものにすることができました。当日、前を通る度に「おめでとうございました」とこやかに声をかけて頂き、とても嬉しかったです。来年以降も新しくはたちを迎える皆様にとって思い出深い式典となるよう、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

私は中高生の時に、平塚市ジュニアリーダーズクラブに所属していました。その際にボランティアとして成人式に参加し、先輩が活躍している姿を見て、この実行委員会に興味を持ちました。

実行委員の活動を通して私は、これまで知らなかった地元平塚の沢山の企業を知ることができました。企業の皆様の温かいご支援のお陰で、抽選会や20th passの企画を実現することができ、とても嬉しく思っています。

これから、生まれ育ってきた地元・平塚に恩返ししていきたいと、以前よりも強く感じるようになりました。

以上



平塚市はたちのつどい実行委員

さいとう たいよう
齋藤 太陽

私が平塚市はたちのつどい実行委員に参加したきっかけは中高と続けてきたジュニアリーダー活動の一環のびわっ子のボランティア活動の担当の方からお話を頂き参加しました。はたちのつどいの活動では中学時代の

恩師の方々にビデオレター撮影を行い、母校の撮影では恩師と貴重な時間を過ごす事が出来ました。オンライン抽選のご協賛依頼では私が高校生の時から通っている美容院でカット担当の方や応援しているサッカークラブの元選手がご協賛の写真撮影等も応じて頂きました。式典当日は私がジュニアリーダーの時にお世話になった青少年課の方々から沢山のお祝いの言葉を頂きとても嬉しかったです。式典終了後には、晴れ舞台を見て感動したよとお言葉を頂きとても嬉しかったです。

以上



平塚市はたちのつどい実行委員

たんの あかり
丹野 暁理

私のはたちのつどい実行委員に挑戦したきっかけは、一緒に実行委員をした幼馴染の黒崎由佳さんが声をかけてくれたことです。初めのうちは大学との両立ができるか、自分に務まるのか不安でした。しかし6月から始まった月1回の会議に参加していくうちに不安は楽しさに変わりました。

私が実行委員会活動中、印象に残っていることは、中学時代の恩師や市内の企業を回ったことです。アポ取りの連絡から、撮影・協賛のお願いに行くまで自分たちで行いました。この時行った事は社会に出た時に役立つことばかりでした。そのほかにも、フォトスポットなど様々な企画を行いました。大変でしたが終わった時の達成感は格別でした。

まだ新型コロナウイルスの収束が見えない中ではたちのつどいでしたが、たくさんの方々のご協力のもと、対面で開催することができました。この場をお借りしての挨拶となっております

が、本当にありがとうございました。

以上



令和5年平塚市

はたちのつどい結果

日時：令和5年1月9日(月・祝)

第一部

午前12時00分～12時30分

第二部

午後2時30分～3時00分

会場：トツケイセキユリテイ

平塚総合体育館

内容：「式典」

開式のことば

平塚市長あいさつ

御来賓祝辞

恩師からのビデオレター

閉式のことば

結果：《対象者数》2,552人

《参加者数》1,691人

《参加率》66.26%

今年も27名の青少年指導員の方に
 《受付》《総合案内》《誘導・巡回》
 《警備》のグループに分かれ、はたちの
 つどいへの御協力をいただき、ありがとう
 ございました。 《事務局》

広報委員のつどい

令和5年1月9日祭日、雲一つない
 青空のもと「平塚市はたちのつどい」
 が総合体育館で開催されました。平成
 14年生まれの新成人が色とりどりの
 の振袖、羽織、はかま、スーツ姿と着
 かざって式に参加しました。いままで
 と一つ違っていたのは「コロナ禍の中、
 マスク姿の式典」でした。一生のわす
 れない思い出になることでしょう！
 昭和・平成・令和の成人式、時代は変
 われど風景は同じ様ですね。令和の時
 代、これから「はたちのつどい」はど
 う様変わりするのでしょうか？

以上

豊田地区 伊東多恵子

【広報委員会】

委員長 松が丘地区 荻原 智隆

委員 花水地区 高橋 幸宏

〃 豊田地区 伊東 多恵子

〃 神田地区 土屋 裕之

〃 城島地区 南雲 真理子

〃 金田地区 村形 伸一

〃 真土地区 石井 康仁

〃 なごし地区 田邊 貴也

〃 松延地区 伊川 眞理

事務局 青少年課 宇田川 純平

〃 〃 嶋崎 和栄

〃 〃 〃

